

カトリック河原町教会だより

2012年7月

バチカン駐日教皇大使 ジョセフ・チェノットウ大司教を迎えて

日本二十六聖人殉教者 列聖150年 記念ミサ

6月8日(金)午後3時より、河原町教会で「日本二十六聖人殉教者列聖150年記念ミサ」が、バチカン駐日教皇大使、池長潤大阪大司教など9名の司教とイエズス会、フランシスコ会両管区長を迎えて、大塚喜直司教の司式によりささげられました。

翌9日(土)は岡山教会で記念ミサが行われ、10日(日)には、二十六聖人たちが磔の刑に処せられた長崎の西坂で、バチカン駐日大使列席の

もと、「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」の銘板の除幕式が行われ、二十六聖人にちなんで26本の椿が植樹されました。午後2時から、浦上教会で記念ミサが行われ、「日本カトリック長崎・西坂巡礼所」の設立が宣言されました。(次頁に関連記事)



ジョセフ・チェノットウ大司教は1943年10月13日、インド・ケララ州コカマンガラム生まれ。1969年5月4日司祭叙階。教会法博士。1999年10月30日司教叙階。2005年6月15日、駐タンザニア連合共和国教皇大使。2011年8月15日駐日教皇大使。

主の変容

8月6日は「主の変容」の祝日です。イエスの変容は、受難の40日前に起こったと伝えられ、9月14日の「十字架称賛」の祝日の40日前の8月6日に祝うようになりました。この出来事はマルコ、マタイ、ルカの3福音書に描かれていて、いずれにおいてもイエスがご自分の死と復活を弟子たちに予告された直後に起こっています。

弟子たちは、イエスがエルサレムで多くの苦しみを受けて十字架上で殺されることを聞いても、受け入れることができませんでした。イエスの変容は、そのような弟子たちにイエスの栄光の姿を示して、彼らを勇気づけるために神がなされたのだと言われてきました。栄光とは、



そのものが最もそのものらしい姿、そのものが輝く状態を指しています。イエスが最もイエスらしい姿を現されるのは、十字架上で人類のためにご自分の命をささげ尽くすときです。それこそがイエスの栄光そのものです。それは、イエスの十字架が、神の全人類への愛、イエスのわたしたちへの愛そのものだからです。そしてイエスの復活は、十字架の死なしにはありえません。つまり、山上で光輝いたイエスの栄光の姿は、イエスの十字架の姿と表裏一体をなしていると言えるのです。

イエスの十字架は、人間的に見れば、挫折、失敗に見えるでしょう。しかし、神の栄光は、そのような価値観とはまったく逆のところにあるということです。わたしたちがこの世の人間的な価値観にとらわれているとすれば、このイエスの栄光の光によって、その心の闇から解放され、回心していくことができるよう願いたいと思います。

日本二十六聖人殉教者の列聖 及び再宣教150周年にあたって

日本カトリック列聖列福特別委員会
委員長 大塚喜直司教

2012年2月5日の日本二十六聖人殉教者記念日に出されたメッセージの抜粋です。

1597年2月5日(慶長元年12月19日)、長崎・西坂において殉教した「パウロ三木と同志殉教者」と呼ばれた二十六殉教者が、1862(文久2)年6月8日に教皇福者ピオ九世によって列聖されてから、今年でちょうど150年です。また、同年1月12日(文久元年12月13日)、横浜に教会(天主堂)が建立され、わが国における福音宣教が再開されてから150年の節目の年を迎えます。(中略)

■再宣教150年の意義

415年前に殉教した二十六聖人殉教者も、禁教下で250年潜伏し脈々と信仰を伝えた数世代の信徒たちも、いずれもいのちをかけてキリスト教信仰をあかししました。そして、再宣教を果たした宣教師を迎えた信徒たちは再び激しい迫害にさらされ、多くの人々が信仰のためにいのちを落としました。その同じ信仰の血が、3年前ペトロ岐部と187殉教者の列福の恵みをいただいた現代のわたしたちに脈々と流れていることを忘れることはできません。前教皇福者ヨハネ・パウロ二世が来日の折、「日本の教会は、殉教者の血を土台としている」と言われたとおりです。(中略)

教皇ベネディクト十六世は、今年の10月から「信仰年」を開催されます。再宣教150年を迎えたわたしたち

は、今までの日本の教会の歩みを確認し、これからの福音宣教のあり方について、あらためて考えるときです。第二バチカン公会議(1962～1965)とNICE(福音宣教推進全国会議1987, 1993)の精神を継承し、日本の新しい福音化の推進のために、「信仰年」を迎えるふさわしい準備をいたしましょう。



日本二十六聖人殉教の絵 中田秀和 <浦上教会信徒(1909-1982)>原画は長崎大司教館ロビーに展示

ともに歩み、ともに成長

東九条のぞみの園

総合福祉施設 東九条のぞみの園は、カトリック京都司教区カリタス会が京都市より委託を受けて運営しています。特養入居者50名、短期入所者約20名、老人デイサービスでは約90名がこの施設を利用しています。1995年7月1日の開設以来17年の月日がたちました。高齢者の方々が地域社会の中で暮らし続けることができる総合福祉の体制を、これからも整えていきたいと、施設長の奥本喜裕さんは語っておられます。



崔神父様によるミサ 神父さまのご両親と弟さんが済州島から来日、一緒にミサに与られました。



■ボランティアの活動内容

現在、約70名(登録者約120名)のボランティアの方々が日々活動をしています。話し相手、習字や音楽などの特技を生かした活動、入浴後の介助、衣類の繕い、名札付け、ウエス切り、喫茶コーナーのコーヒー・紅茶・ケーキの提供など利用者の皆さんとの交流を行い、施設の運営に大きな力となっています。

■ボランティア講座の開催

年に2回ボランティア講座が行われ、老いの問題、いのち、いやし、



ウエス切り作業

高齢化社会の福祉、心がけたいことなどを学んでいます。ボランティアとして、奉仕をさせていただくことを通して、人間としてより成長する場が与えられています。



(入浴後の介助)

毎月1回第2火曜日の午後にはミサが行われ、入居者の方がボランティアの方とともに祈りを捧げています。

〈ボランティアのお問い合わせ〉

東九条のぞみの園
京都市南区東九条西岩本町1-1
電話:075-662-3961

五

部会報告

- ① 典礼部
 - ・無線機三台購入
 - ・祭壇・楽廊・聖堂整理が連絡をとる
- ② 財務部
 - ・来月の評議会で、半期の決算報告ができるよう準備する
- ③ 教育部
 - ・聖書通読会は百三十七回で終了
 - ・十月より再開予定
 - ・六月二十四日(日) 中高生会の
 - ・コーヒーション開催時に、大震災支援グッズを販売する
- ④ 施設管理部
 - ・前庭・南門改修工事終了
 - ・前庭のベンチ二台購入を承認
 - ・楽廊床のワックスがけを行う
- ⑤ フラジール フマニタス慈善協会
 - を支援する会のバザーを十月七日行うことを承認

洛東ブロック司祭紹介 トマス・アキノス 村上 透磨 神父 その2

トマス・アキノス 村上 透磨 神父 プロフィール

1938年5月26日 京都市生まれ(幼児洗礼)
1966年1月6日 司祭叙階
6人兄弟で村上 眞理雄神父(兄)、ヌヴェール会のシスター・モニカ(姉)、青谷聖家族幼稚園の畑中 美智子園長(姉)がいます。
2007年三重県北ブロック鈴鹿教会在住時、持病の糖尿病のために右足を手術し、現在は車椅子生活を余儀なくされています。

司祭として携わっていること

- ・京都教区南部地区 洛東ブロック協力司祭
- ・入門講座担当 河原町教会
- ・京都教区 典礼委員会、広報委員会(教区時報編集長)、聖書委員会、レジオ・マリエ、子羊会相談役

●司祭として、これまで携わってこられた中で、特に印象深い体験は…

司祭として45年を超えましたが、辛かった体験は、1969年に帰国後、三重県の津南教会(今はありません)でお風呂に入っていてガス中毒になってしまったことです。数日間、生死をさまよいました。どうやら一命はとりとめました。その後遺症で記憶が薄れ、説教や教えていた学校の授業に大きな支障をきたしました。思考力もかなり衰えたようで、この後遺症には悩まされ、苦しみました。これはパウロの言う棘(とげ)のようなものだったかもしれません。これはとても辛かった。

嬉しい体験の一つは、1987年に京都で開催された第1回福音宣教推進全国会議の事務局をお手伝いした時に、会議のメンバーとして青年の参加を要望し、紆余曲折はありましたが、結果的には青年たちが書記として参加することができたことです。京都教区ではカトリック青年センターにその思いが受け継がれています。これからも青年達が活躍できる教会であってほしいと思います。



●「幼きイエスの聖テレジア」について大変深い研究をされていますが…

「聖テレジアの霊性における神の父性について」という論文をフランス語で書きました。当時、聖テレジアについての資料のほと

んどがフランス語だったのです。リジュール(仏)へ行っているといろいろと調べました。「なぜテレジアは神さまをパパ(アッパ)と呼んだのだろうか」。当時のフランス語の聖書には“アッパ”という言葉はどこにも出てきません。にもかかわらず、テレジアは神のことをアッパと呼んだのです。テレジアは母親を早く亡くしましたが、父親に愛情深く育てられ、父親の父性を通して神を見つめていたのだと思います。

●信徒の皆さんやキリスト教に関心のお持ちの方へのメッセージは…

信仰とか宗教というと、これは道徳だと思いこんで、立派にならなければならないという思いが強すぎるのです。司祭も含めてキリスト者がみんな立派な人ばかりというわけではありません。信仰というのは、イエス様の教えに触れることによって、心が自由になり、気が楽になり、楽しくなることです。隣人愛も大切な教えですが、まずは、わたしたちが、神の大きな愛にいつも包まれ、守られていることを感じ、その神を愛することです。「神に全てを委ねて日々を生きる」。これほど幸せなことはありません。

●日常生活の中で信徒として大事なことは…

日常の中で、キリストと共に生きるのを、難しく考える必要はありません。母がそれを教えてくれました。「こんなことをしたら、神さま、喜ばはるか」、「ううん」、「ほな、やめとこ、やりたいけど、やめとこ」、「喜ばはるか」、「そうか、ほな、やるか、つらいこともあるけど、やるか」。これです。大事なものは、わたしたちの生活の中心に神がいつもおられることなのです。(完)

河原町教会 六月度評議会報告

報告事項

- 一 司祭団
 - ①村上眞理雄神父はあとしばらく治療が続きます
 - ②明治村バスツアー無事終了
- 二 ブロック会議
 - ①宣教司牧計画
 - ・「ロザリオの祈り」の実行を検討する
 - ②合同部会の開催
 - ・早期に開き、情報交換を行っていく
- 三 合同堅信式
 - ①当教会成人の受堅者・代親への連絡が必要
 - ・集合時間等の連絡がなかった

協議事項

- 一 土曜夕方、日曜早朝ミサでも、入祭・奉納・退堂時に歌うようにする
- 二 歌リーダーの選定をすすめる
- 三 大塚司教・花井神父霊名のお祝い
 - ①司教様は六月二十四日 十時半ミサ、神父様は同日 七時ミサで行う
 - ②霊的花束を集めている
- 四 衣笠墓地清掃(一回目)
 - ①六月二十四日(日) 十時半ミサ後
 - ②車の手配、軽食準備は役員が行う
- 五 平和旬間行事
 - ①八月十二日(日) 十時半ミサ後予定
 - ②東日本大震災救援活動報告を行う

(左の頁に続く)

●2012年7月～9月の行事予定●

7/1	日		河原町教会評議会 7月例会
7/29	日		教会美化デー
8/4	土	～6(月) 教区中学生広島平和巡礼	
8/5	日		河原町教会評議会 8月例会
8/6	月	～14(火) 被昇天準備礼拝 6:30	
8/9	木	～11(土) 土曜学校錬成会	
8/12	日	平和旬間行事	
8/15	水	聖母被昇天	
8/16	木	諸死者追悼ミサ 18:00	
8/25	土	教会学校研修会	
8/26	日	田中司教霊名のお祝い(10:30 ミサ)	
9/2	日		河原町教会評議会 9月例会
9/9	日	敬老感謝ミサ 10:30 懇親会	
9/10	月	～14(金) 教区司祭黙想会	
9/16	日	司教ブロック訪問 13:00 山科教会	
9/23	日		大日山墓地清掃

お知らせ (敬称略)

◆京都ノートルダム女子大学 1年生 330名がミサに

6月9日(土)9時半より河原町教会聖堂で、ノートルダム女子大学の1年生が「ノートルダム学」という大学の建学の精神を学ぶ授業の一環として、花井神父様からミサについての説明を受け、その後ミサに与りました。この授業は毎年行われています。

<京都ノートルダム女子大学は、昨年創立50周年を迎えました。>

大学の母体はノートルダム教育修道女会(1833年ドイツババリア王国で創立)で、世界各国で学校教育を行っております。日本には1948年4人の米国人修道女が来日し、京都にノートルダム女学院中学校(1952年)、高等学校(1953年)、小学校(1954年)を設立、1961年に京都ノートルダム女子大学が設立されました。

◆キリスト教に関する本が1300冊

1階集会室にある図書コーナーの本はどなたでも自由に読み、借りることができます(聖書類を除く)。公会議、神学、典礼、聖書注釈、聖母、聖人、司祭著書、霊的読書、文学作品、児童書等に分類されています。貸出ノートにご記入の上ご利用ください。貸出期間は1カ月です。



河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びの講座

河原町教会では次の講座が開かれています。どなたでも自由に参加できます。

◆信仰入門講座◆

月曜日 19:15 花井 拓夫 神父

火曜日 10:00 花井 拓夫 神父
キリスト 『キリスト教とは何か』

19:15 ポアペール 神父

水曜日 19:15 ポアペール 神父

金曜日 19:15 村上 透磨 神父

◆信徒養成講座◆

信徒の方で信仰をより深めたい方のための講座。毎月1回

北村 善朗 神父

テーマ 「秘跡を学ぶ」

7/19(木) 14:00

9/20(木) 14:00

※ 8月はお休み

キリスト 『カトリック教会のカテキズム要約』